

リペリオ

問い合わせ先：ウエルテック株式会社
価格：各 1,200 円（税別）80g



リペリオとは、歯周形成外科処置をはじめ矯正処置にたよらずに歯肉再生効果が期待できる歯みがき剤です。表層タンパク質を凝固することで組織内部における生体の修復を促し、そのうえ、血行促進することで組織の代謝を活発にする歯肉活性化歯みがき剤です（特許製品）。配合成分は、OIM（オーガニックイオニックミネラライズ：イ

オン化された酵母有機ミネラル）加水分解コンキオリン、塩化ナトリウム、ビタミンE、トウキエキスを生薬、グリチルリチン酸ジカリウム、ポリリン酸ナトリウム、キシリトールです。

OIM 加水分解コンキオリンは線維芽細胞の賦活効果を高めて、コラーゲン、エラスチンの増殖を促進させ歯肉に弾力と張りを与えます。歯周組織活性化

剤として、毎日の歯磨剤としてご使用ください。また、院内では歯周治療補助剤・促進剤として（ブラッシング指導時、PMTc・PTC・SRP 時の歯肉活性化ペーストとして）ご使用ください。現在、インプラント治療をされている先生方にも注目されている製品です。

私はこう使っています

おがわともひさ
小川智久

日本歯科大学歯学部歯周病学講座
〒102-8158
東京都千代田区富士見 2-3-16

1. はじめに

近年、患者のQOL向上により、歯科治療に対するさまざまな要求が高まってきています。歯肉退縮による歯根面露出や歯間部歯槽骨の吸収による歯間乳頭の退縮が、審美的にも機能的にも患者にとって重要な問

題として取り上げられることがあります。

歯肉退縮または歯間乳頭の退縮に対する処置として、おもに歯周形成外科（Periodontal Plastic Surgery）である遊離歯肉移植術や上皮下結合組織移植術などがあり、さらには組織誘導再生療法（Guided Tissue Regeneration：GTR 法）を伴った処置などもあります。また、症例によっては矯正処置も適応されますが、処置の複雑さや外科的侵襲の程度に対し、患者の満足度は低いのが現状であると思われます。

2. OIM 加水分解コンキオリンとは

今回紹介する歯肉活性化歯みがき剤リペリオ[®]は、線維芽細胞に対し賦活効果を示す加水分解コンキオリンを配合しています。さらに、歯磨剤として用いるため、歯肉上皮から線維芽細胞への吸収を促進させるため、オーガニックイオニックミネラライズ（以下 OIM と略す）を加えています。

リペリオ[®]の主成分である OIM 加水分解コンキオリンを、線維芽細胞に対し各濃度で 48 時間作用させ



図1 スタート時の線維芽細胞



図2 48時間後の線維芽細胞

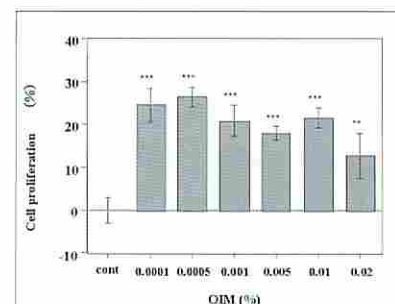


図3 OIM 加水分解コンキオリンの細胞賦活効果

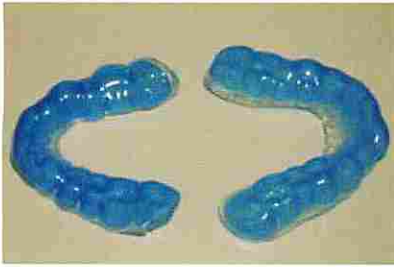


図1 ドラッグ・リテーナー



図2 ドラッグ・リテーナーにジェルコートFを注入する。

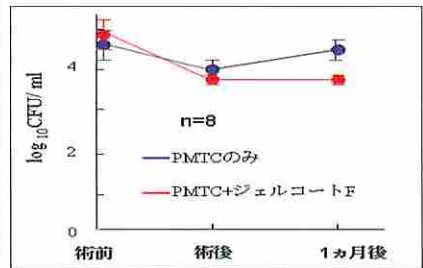
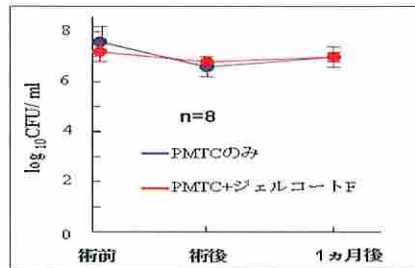


図3 ドラッグ・リテーナーを装着する。

図4 総レンサ球菌数の変化

総レンサ球菌数はPMTCのみの群とPMTC+ジェルコートF群で差は認められないが、ミュータンス菌数は術前、術後1ヵ月においてPMTCのみの群とPMTC+ジェルコートF群で有意な差 (Wilcoxon $p < 0.05$) を認めた。

図5 ミュータンス菌数の変化



楊枝に付けても使用できます。また、薬用マウスウォッシュ・コンクールFの希釈液との併用はより効果的です。コンクールFは、25～50ml (コップ約1/8～1/4)の水に5～10滴滴下して希釈します。このときのグルコン酸クロルヘキシジンの濃度は、約0.0001～0.0006%です(この濃度は、口腔内常在菌の最小発育阻止濃度に達します)。

② 歯科医院におけるプロフェッショナルケアとしての使用法

唾液検査などによりう蝕・歯周病のリスクが高い患者さんにおいては特に、リスク低減療法の一部としてPMTCによる歯面清掃後、ドラッグリテーナー (3DS) によるジェルコートFの塗布を行っています (図1～図3)。ドラッグリテーナーを使用することで唾液により希釈されず有効濃度を維持し、歯面に直接作用させることが可能です¹⁾。ジェルコートFはう蝕原性菌、ミュータンスレンサ球菌に対する殺菌効果が認められています (図4・図5、表)。また、ホームケアとしてドラッグリ

表 ジェルコートFおよび薬用洗口液コンクールFの抗菌力を評価するために行った *Streptococcus mutans* (*S. mutans*) ATCC 25175 に対する殺菌効力試験

殺菌剤の組み合わせと希釈率	<i>S. mutans</i> (検体中に 4.5×10^6 CFU/ml 接種)		
	1分	2分	5分
コンクールF × 10	1.3×10^2	$<10^1$	$<10^1$
ジェルコートF × 10	4×10^1	2×10^1	6×10^1
サンプルQ × 10	1.2×10^5	1.6×10^4	1.3×10^3
コンクールF + ジェルコートF × 10	4×10^1	$<10^1$	$<10^1$
コンクールF + サンプルQ × 10	5.8×10^4	1.7×10^3	3×10^1

ウエルテック社提供

この試験を実施するにあたり、同時にサンプルQ (従来タイプの発泡剤・研磨剤配合製品) も同様の検査を実施しジェルコートFの拮抗性と殺菌力についても言及しました。各種殺菌剤の単独および合剤をそれぞれ10mlずつ滅菌試験管にとり、これに試験菌液を0.1mlずつ接種した後1, 2, 5分後にその1mlを中和液9mlに移し、この液の生菌数をBHI寒天培地混濁法により測定しました。その結果コンクールFの殺菌効果が確認され、ジェルコートFもコンクールFと同等ないしやや強い殺菌効力を示しました。サンプルQは殺菌効果が認められず、コンクールFとサンプルQの合剤はコンクールF単独の場合に比べて殺菌効力の低下が認められ、拮抗作用があると判断されました。コンクールFとジェルコートFの合剤はいずれも単独の効果を上回る相加的な殺菌効果が得られました。

テーナーの使用法を説明、各家庭での使用を勧めています。こうした使用法は適用外使用になるため、医師の裁量権で使用することを患者さんに説明しましょう。

まとめ

オーラルケア製品は患者さんのみならず、筆者も使用します。ジェルコートFを導入する前に本製品を3DSの主剤として実際に使用しま

した。口の中が爽やかで後味の良さが印象に残りました。日常オーラルケア製品としては、長く使用していくことができなくては一時的のぎとなってしまう。患者さんに勧める前に術者が実際に使用しその使用感を話されてはいかがでしょうか？

参考文献

- 1) 武内博朗, 早川浩生 (花田信弘 監): チェアサイドの3DSってなに? ガイドブック. デンタルダイヤモンド, 東京, 2002.